

離農を食い止める！

～作業分業化で労働力不足と過重労働解消へ～

べつかい
有限会社ウエストベース(別海町)

道東あさひ農協からTMRセンターの貸与を受けて運営

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 原油価格の高騰や肥料・飼料の値上がりから農業所得が減少し、加えて後継者不足や高齢化が進み、労働力不足と過重労働から離農する農家が後を絶たない状況が続いていた。
- ◆ 離農を解消すべく、分業化対策の一環として平成17年8月TMRセンター※構想の実現に向け取り組みを開始。
- ◆ 西春別農協(現 道東あさひ農協西春別支所)が整備したTMRセンターの貸与を受けて平成18年4月から運営。
- ◆ 草地管理はウエストベースが実施。ふん尿散布及び飼料作物の収穫は系列会社の(株)東日本ユニオンに委託。ミキシング及びTMR配送も同じく系列会社である(株)ミッションに委託。

※TMRとは、Total Mixed Rationの略称で、粗飼料と濃厚飼料、ミネラル・ビタミン等をバランスよく含む混合飼料のこと。TMRセンターでは、TMRの生産、調製から配送までを行う。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 平成30年に発生したブラックアウトの際、発電機を所有していなかったことから、構成員に2日以上TMRを供給することができなかった。
- ⇒ブラックアウトを契機に停電発生時の対策として、発電機購入を検討中。

【組織等の概要】

- 代表者：代表取締役 宮坂 隆男
- 構成員：17戸
飼料作物耕作面積計：1,400ha
給餌対象頭数計：2,200頭
- TMR供給量：145トン/日

【取組の成果】

- 構成員の飼料調製に係る作業負担軽減。
- TMRを圧縮し、真空状態で梱包する「圧縮梱包」を採用
⇒長く貯蔵できるため、悪天候やTMRセンター休業時に備えて、事前に作り置きが可能。
⇒給餌する際、飼料庫からの運搬が容易になり作業負担が軽減。

<(有)ウエストベースの取組の流れ>



【今後の展望】

次代の後継者に夢と希望を与えて、別海町の一次産業である農業の拡大発展に寄与できるよう運営する。